

令和3年度  
第1回香美市まちづくり委員会会議録【概要版】

日 時 : 令和3年9月30日(木)午後6時半～午後8時  
場 所 : 香美市立中央公民館1階大ホール  
出席者 : まちづくり委員 16名  
          市長、企画財政課長、企画調整班4名  
欠席者 : 5名  
会 長 : 山崎眞幹委員  
副会長 : 中村健委員

- ・市長挨拶
- ・自己紹介
- ・会長・副会長の選任  
会長は山崎眞幹委員、副会長は中村健委員(以上、事務局案)で承認を得る。

【協議内容】

- 1.香美市まちづくり委員会について(設置の経緯と役割)
- 2.香美市協働推進計画策定 スケジュール等について  
事務局から資料2・3を使用してまちづくり委員会の設置の経緯、これまでの経過や役割、香美市協働推進計画策定が主な役割となるため、そのスケジュール等について説明する。  
・質問なし

- 3.次回以降のまちづくり委員会について  
事務局から当日配布2を使用して説明する。  
次回の委員会は、まず「協働」についての勉強会を行いたい点を付け加えて説明する。

- ・(協働推進計画の)「協議」はどのように行うのでしょうか。  
→他市の計画を参考にしながら骨格(全体枠)から決めて、その後、前から少しずつ順番に協議しながら進めていきたい。  
なお、中盤1時間程度のグループワークについては、「参考資料3の令和元年度香美市の協働事業」について、皆様からご意見をいただきながら、チェックしていくやり方を考えている。その参考資料3は、香美市ですで行われている協働事業(令和元年度は128事業)について、5つの協働領域(市民主体～行政主導)のうち両端を除いた3つの領域(市民主導・協力・行政主導)に分類してあるものである。  
後半30分では、全体発表等を通じて情報共有をし、その中で今後のまちづくりの目標として、5～10年かけてどのような部分を強化していけば良いかを話し合いたい。その内容を協働推進計画に入れて、市政に活かしていけたら、と考えている。

- ・「前半30分」の話し合い、は何について行うのか。

→協働推進計画についてだが、実は、3期の委員の皆様にお配りした素案はあるが、会での協議はまだしていないものである。その素案は一旦取り下げて、まずは、その素案の基となる構成から話し合っていきたい。

・前回の委員会で配布された素案をいただけたら、協議もしやすいと思うが。

→昨年度の委員会では時間の関係もあり、素案の中身についての協議は全くしていない。また、計画の中身の案を示して協議するのは時期尚早であったというところもあり、その素案は一旦取り下げて、やり直そうというところである。

まずは、全国的に協働推進計画を作成しているところはたくさんあるので、まずはその目次などを一覧にしたものを基に「1から」協議をしていきたい。

・中盤1時間程度の協働事業一覧のチェックについてだが、これらの128事業は既に議会で可決されたものであると思うが、我々がもう一度精査するのか。

→事業が終わり決算審査を受けたものではあるが、それはそれとして、サービスを受ける側として、『こういった形の方が良いのでは』という意見があったとしたら、それがお金の問題なのか、人の問題なのか、情報の問題なのか、場所の問題なのか、みたいな事をチェックしていくということである。あくまでも、協働でまちづくりを進めていくために、どういう要素が必要で、その要素でどういうふうに満足していけるか、良い方向にいけるのかということを計画してまとめていくということなので、すでに終わった事業に対して何か影響力を持つという意味のチェックではない。

→ほとんどの事業が令和3年度も継続して行われており、そこに書かれている事業内容もほぼ変わらないものである。そこにある全ての事業に対してリアリティを持って、どのような協働が行われているか監視するのは難しいと思いますので、例えばこの中で、ご自身の関心ある事業について、どういった形で協働が行われているかをまず感じていただき、そのあとで『こういうやり方はどうだろう。』『違ったやり方はないだろうか。』また現状のままでも良ければそのまま、といった意見をいただきたい。その意見を協働推進計画に反映させていきたい。

・第3期の終わりにやったグループワークのようにゴミ問題や介護問題といった大まかなくくりでやるのか、先ほどの説明にあったようにひとつひとつの事業ごとにやるのかでは随分違う。第3期のグループワークがどのように生かされているのかも分からない。そのあたりを整理してほしい。

→第3期の終わりにやったグループワークも、要は協働推進の指針となるいくつかのキーワード（情報・人・場所・お金・体制等）がひとつひとつの目標となっていくために行った。そういった目的のグループワークをどのようにやったらよいかと、ある種実験的に、皆さんの関心の高かったテーマ（介護・ゴミ等々）で行ったというところですが、今期やろうとしているグループワークも、今言った5つのキーワードを切り口に、128の香美市の協働事業を、グループにわかれてチェックしてみて、同じようなことがあるのかないのか等をやっていけたらと考えている。指針のコアとなることを拾い上げていきたい。

また、行政がどういう公共サービスをしているか知らない人も多いと思うので、それを知ることも含めてやっていきたい。最後に情報共有をして、理解して、進めてい

けたら、と考えている。

2・3回やってみて、この進め方ではおかしいという意見があったら、やり方の変更も検討してみる。

皆さんと共通認識を常に図りながら段階を踏んでやっていきたいと考えており、意見は違っても『分かった』と言えるようにしていきたい。

#### 4.アンケートについて

当日配布3を使用して説明する。

・建設・環境等の項目は資料のどこにあるのだろうか。

→参考資料3のA4横の表、“香美市の協働事業一覧”の横に“( )”で記載されている。

#### ○その他

・今期の委員のメンバーについて、公募委員がかなり減っている理由を知りたい。

→前回と比較して、公募の仕方等も同じで選考方法を特に変更したわけではありません。広報不足と言われれば否めないかもしれませんが、応募自体が少なかった。厳選はしておりますが、その仕方を前回と変えたわけではありません。

・参考資料4・5の分厚い資料はどのように利用すれば良いか。

→参考資料4は、八王子市が職員のために作ったもので、ひととおり目を通していただければ、協働というものを理解できるのではないかと心配したものである。

参考資料5は、香美市のまちづくり委員会が条例に基づいて行っていることは、地方自治法において位置付けられており、(あまりないかもしれませんが)何かあった時に地方自治法に立ち返ることが必要になるかもしれないため、お渡ししたものである。

参考資料5は、必ずしも全部読まなくてはいけないというものではないが、参考資料4は今後の議論に役立つと思うので、お読みいただきたい。ただ、香美市がこの参考資料4のようなものを作る、というわけではない。